

# F-SECURE ELEMENTS ENDPOINT PROTECTION

クラウド型統合セキュリティ対策

F-Secure Elements Endpoint Protectionは、パッチ管理および、モバイルデバイス管理を備えた唯一の統合型マルチエンドポイントセキュリティソリューションです。



## F-Secure Elements Security Center

サーバレスで各セキュリティ対策ポイントを安心・簡単に一括管理



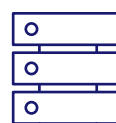
### F-Secure Elements EPP for Computers

WindowsとMacのエンドポイントに対する最新のセキュリティ対策



### F-Secure Elements Mobile Protection

モバイルデバイスのマルウェア対策、VPN、MDMを含むiOSとAndroidデバイスに対するセキュリティ対策



### F-Secure Elements EPP for Servers

Windows、Linux、およびCitrixサーバに対するセキュリティ対策

## 主な特長



### ベストプロテクション

- ▶ 第三者機関 AV-TESTの「Best Protection Award」を7回受賞した唯一の企業



### 統合型セキュリティ対策

- ▶ 全てのエンドポイントを保護
- ▶ パッチ管理
- ▶ 高度なセキュリティ対策新機能 DataGuard (データガード)



### コスト削減

- ▶ 管理サーバ不要
- ▶ 簡単インストール
- ▶ エンドポイントの可視化により簡単管理

製品ラインナップは2種類

## F-Secure Elements EPP for Computers

## F-Secure Elements EPP for Computers Premium



	F-Secure Elements EPP for Computers	F-Secure Elements EPP for Computers Premium
アンチウイルス	○	○
DeepGuard (振る舞い検知)	○	○
ファイアウォール	○ (Windowsファイアウォール)	○ (Windowsファイアウォール)
危険なWebサイト接続防止	○	○
URLフィルタリング	○	○
バンキングサイト接続保護	○	○
デバイス制御	○	○
ソフトウェアアップデート (パッチ管理)	○	○
DataGuard (ランサムウェア防御)	-	○
アプリケーション制御	-	○

進化するセキュリティ脅威にデータガード、ディープガード、パッチ管理のエフセキュア最新テクノロジーにて対応可能!!

詳細は裏面に

POINT 1

## マルチレイヤープロテクションによる未知のマルウェア対策

エフセキュア マルチレイヤープロテクション (階層型防御) により新たな脅威に対抗します。

- > エフセキュア セキュリティに対する多層的なアプローチは、さまざまなモジュールで構成されており、それらが連携することにより、最新の脅威に対応します。
- > エフセキュア ディープガードは、エフセキュアが独自開発したパターンファイルを利用しない最新のマルウェア検知テクノロジーです。怪しいプログラム (未知のウイルスの可能性が高いもの) の挙動を観察 (振る舞い監視) し、感染を防ぎます。ディープガードでは、判断に要する時間の短縮を情報の共有化 (レピュテーションネットワーク) により実現しています。



POINT 2

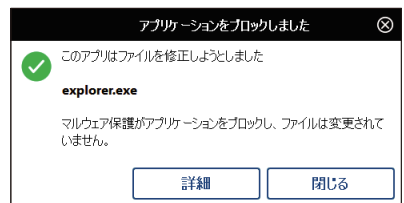
## データガード<sup>1)</sup>によりランサムウェア等の高度な脅威対策

新機能データガード (DataGuard) により、大事なファイルやフォルダの変更や書き込みを防御します。

- > エフセキュア エンドポイント対策製品のデータガードにより、ランサムウェア等の高度なセキュリティ脅威が ユーザの大事なファイルの変更を阻止します。
- > アドバンスド・ビヘイビア・ブロッキング機能と連携し、常に最新のランサムウェアに対処することが可能です。

<sup>1)</sup>データガードはWindows OS上でのみ動作し、EPP for Computers Premium にて提供します。

データガードによるブロック画面



POINT 3

## ソフトウェアアップデート<sup>2)</sup> (修正パッチマネジメント) による脆弱性対策

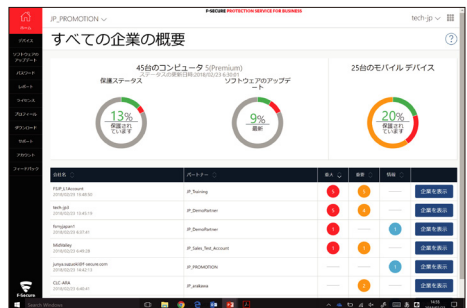
OSの脆弱性だけでなく、その上で稼働するアプリケーションもマルウェアに悪用されます。

常にOSとサードパーティアプリケーションの修正パッチ適用状況の可視化することで脆弱性対策を行えます。

- > 日々リリースされるOSやサードパーティアプリケーションの修正パッチ適用状況を可視化し、必要に応じて適用<sup>3)</sup>させることで最新の状況に保ちます。
- > 特定端末やドメイン単位でセキュリティポリシーを設定し、一斉に配信することができます。企業のコンプライアンス強化のためのコーポレートセキュリティポリシー運用監視を実現します。

<sup>2)</sup>ソフトウェアアップデートはWindows OS上でのみ動作し、Client Securityではプレミアム版にて提供します。

<sup>3)</sup>修正パッチの適用にはインターネットへの接続環境が必要となります。



機能比較表 (主要セキュリティベンダー)

	エフセキュア	A社	B社	C社	D社	E社
マルウェアの対策 (ファイルスキャン)	○	○	○	○	○	○
怪しい振る舞いの対策 (プロセススキャン)	○	○	×	○	○	○
怪しいWebサイトへの接続の対策	○	○	○	×	○	○
Webサイトから怪しいファイルのダウンロードの対策	○	×	○	×	○	×
パーソナルファイアウォール	○	○	○	×	○	×
侵入の防止 (HIPS)	○	○	○	×	○	×
アプリケーションの制御	○ (プレミアム版で対応)	○	×	×	○	○
ファイル・フォルダの改ざんの保護 (ランサムウェア対策)	○ (プレミアム版で対応)	×	×	×	×	○
デバイスの制御	○	×	×	○	○	×
Windows、Adobeなど、アップデートパッチの適応	○	×	×	×	△	×

※比較内容は、2019年12月時点の情報

エフセキュア株式会社

お問い合わせ先

〒105-0004

東京都港区新橋2-2-9 KDX新橋ビル2F

Tel. 03-4578-7710

E-mail : japan@f-secure.co.jp